

Satoyama推進コンソーシアム

第2回 Satoyama実践者交流会

『SDGsを里山里海で考える』

日時：2020年2月23日(日)

会場：Hotel&Resorts ISE-SHIMA（志摩市磯部町の矢字笠取939-6）

主催：Japan Times Satoyama推進コンソーシアム、志摩市

協力：三重県

後援：総務省・農林水産省・経済産業省・環境省・全国知事会・全国市長会・全国町村会

Satoyama推進コンソーシアムは三重県志摩市と共催し、『Satoyama推進コンソーシアム第2回 Satoyama実践者交流会』を開催します。

今回は2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」に焦点を当て、『SDGsを里山里海で考える』をテーマに、藻谷浩介氏の基調講演や、鈴木英敬知事、津田祐樹氏がそれぞれモデレーターを務めるパネルディスカッション、また各地で地域全体の活性化に寄与する実践者の皆さんや高校生に里山里海の視点からその活動や成果を共有いただきます。

2013年に出版された『里山資本主義』(著:藻谷浩介・NHK広島取材班)。自然由来の資源に、地域で暮らす人々の手で新たに交換可能な価値を与え、安心して将来性のある地域社会を作るという新しい資本主義のあり方です。出版から6年、今では各地域の実践者の手により自然環境の中の様々な未活用資源が活かされ、雇用を生み、地域全体の活性化に繋がる事例が増えています。その成果を実践者同士で収集し、共有し、発信することで、その活動を持続可能で価値の高いものにするべく、2018年の神石高原町に続き、今回は三重県志摩市でSatoyama実践者交流会を開催いたします。

お申し込み
方法

志摩市SDGs未来都市推進室までお電話またはFAXでお申込みください。

[電話]0599-44-0206 [FAX]0599-44-5252

※お名前、連絡先を伺わせていただきます。

参加費用

参加費:無料

プログラム

2月23日(日)「Satoyama実践者交流会」

開会(13:00)	受付開始
開会挨拶(13:30)	末松弥奈子 (当コンソーシアム代表/ジャパンタイムズ代表取締役会長) 竹内千尋市長(志摩市)
パネル ディスカッション①	「里山里海×海洋保護」 モデレーター:津田祐樹氏(株式会社フィッシャーマン・ジャパン・マーケティングCOO) パネリスト : 瀧口博明氏 (国連大学サステナビリティ高等研究所 プロジェクトディレクター) 田中文裕氏(NPO里海づくり研究会議 理事・事務局長) 新井圭織氏(海女/三重県漁村女性アドバイザー)
パネル ディスカッション②	「里山里海×地産地消」 モデレーター:鈴木英敬知事(三重県) パネリスト : 樋口宏江氏(志摩観光ホテル総料理長) 浜田吉司氏(株式会社マस्याグループ本社代表取締役社長) 近藤百氏(愛農学園農業高等学校教諭)
休憩[15分](三重県立水産高等学校による試食販売)	
実践事例紹介①	「里海に生き、生かされる」(三重県) 橋本純氏(有限会社友栄水産)
実践事例紹介②	地元高校生(志摩市)による取組発表「志摩市を元気に!!」私たち チーム『ボニータ』の活動 三重県立水産高等学校(水産資源科アクアフードコース)
講評・感想	高校生発表の講評および感想 竹内千尋市長(志摩市)
基調講演	「持続可能な未来を里山里海から」 藻谷浩介氏(当コンソーシアムアドバイザー/日本総合研究所調査部主席研究員)
表彰式	Japan Times Satoyamaフォトコンテストアワード2019受賞発表
閉会挨拶	
閉会	

※プログラムは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。